

# 運用報告書(全体版)

## 満期償還

第3期

(償還日：2017年7月25日)

### ダブルエンジン 14-04

\* 当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	単位型投信／内外／資産複合
信託期間	2014年4月25日から2017年7月25日まで
運用方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・主として、ブラジル・リアル建てのブラジル割引国債に投資を行い、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。</li><li>・日経平均株価（日経225）に連動する上場投資信託証券（ETF）に一部投資を行い、日本株式市場の値上がりによる信託財産の成長を目指します。</li><li>・基準価額が12,000円以上となった場合には、保有している有価証券等を売却し安定運用に切り替え、速やかに繰上償還を行います。</li><li>・外貨建て資産については、原則として為替のヘッジを行いません。</li></ul>
主要投資対象	ブラジル・リアル建て割引国債および日経平均株価（日経225）に連動する上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%未満とします。</li><li>・上場投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%未満とします。</li><li>・外貨建て資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>
分配方針	運用による収益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

—— 受益者のみなさまへ ——

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「ダブルエンジン 14-04」は、2017年7月25日をもちまして償還いたしましたので、運用状況および償還内容をご報告申し上げます。

長い間ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 JAビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当  
電話番号／03-5208-5858（受付時間／9：00～17：00  
（土、日、祝休日を除く））

ホームページ／<http://www.pinebridge.co.jp/>

## 目 次

### ◆ダブルエンジン 14-04 運用報告書 償還

◆設定以来の運用実績	1
◆当期中の基準価額と市況等の推移	1
◆設定以来の投資環境	2
◆設定以来の運用経過	5
◆1万口(元本10,000円)当たりの費用明細	7
◆売買および取引の状況	7
◆主要な売買銘柄	8
◆利害関係人との取引状況等	8
◆組入資産の明細	8
◆投資信託財産の構成	9
◆資産、負債、元本および償還価額の状況	9
◆損益の状況	9
◆投資信託財産運用総括表	10
◆毎計算期末の状況	10
◆償還金のお知らせ	10

## ◆設定以来の運用実績

決算期	基準価額		受益者 利回り	債券 組入比率	投資信託証券 組入比率	元本 残存率	
	期中 騰落額	期中 騰落率					
(設定日) 2014年4月25日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% 100.0	
第1期(2015年7月27日)	10,412	412	4.1	3.3	61.1	37.7	53.8
第2期(2016年7月25日)	9,730	△682	△6.6	△1.2	67.7	31.6	46.4
(償還日) 第3期(2017年7月25日)	(償還価額) 11,499.54	1,769.54	18.2	4.6	—	—	17.5

(注1) 設定日の基準価額は当初設定の投資元本です。

(注2) 受益者利回りは分配金込み基準価額の当初元本に対する年率換算利回りです。

(注3) 当ファンドは、適切に比較できる指数がないため、ベンチマーク等はありません。

## ◆当期中の基準価額と市況等の推移

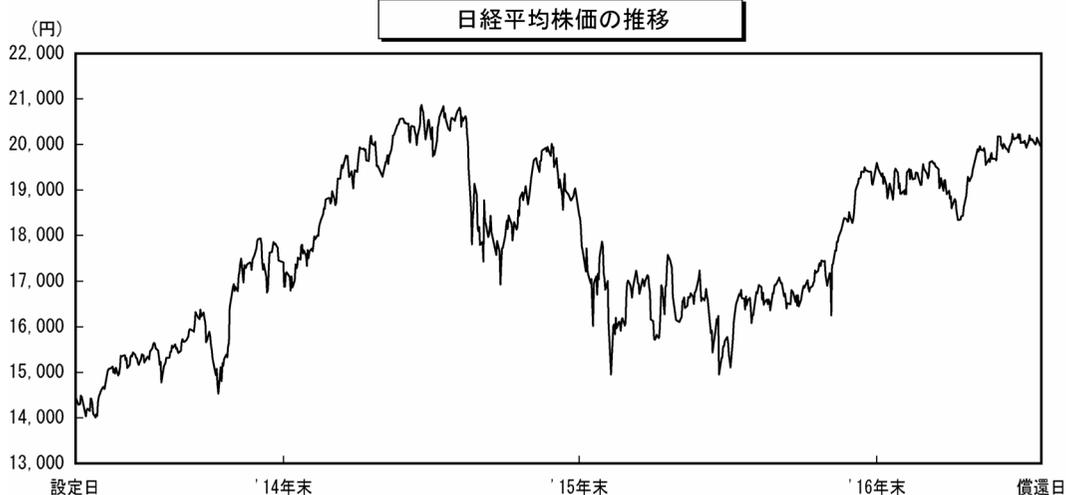
年月日	基準価額		債券 組入比率	投資信託証券 組入比率
	騰落率	騰落率		
(期首) 2016年7月25日	円 9,730	% —	% 67.7	% 31.6
7月末	9,525	△2.1	67.1	32.2
8月末	9,687	△0.4	67.4	31.9
9月末	9,540	△2.0	68.0	31.6
10月末	10,136	4.2	67.7	31.7
11月末	10,444	7.3	67.4	32.8
12月末	11,251	15.6	68.7	29.7
2017年1月末	11,486	18.0	67.1	28.0
2月末	11,529	18.5	70.9	28.9
3月末	11,463	17.8	70.1	29.2
4月末	11,409	17.3	72.1	27.5
5月末	11,345	16.6	71.0	28.3
6月末	11,435	17.5	71.3	25.9
(償還日) 2017年7月25日	(償還価額) 11,499.54	18.2	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

## 設定以来の投資環境

(2014年4月25日～2017年7月25日)

### 国内株式市場



#### 第1期 (2014年4月25日～2015年7月27日)

日本株式市場は、地政学リスクの高まり、原油価格の下落による投資家心理の悪化、ギリシャ債務問題への懸念などが悪材料となり軟調になる局面もありましたが、2014年10月末の日銀の追加金融緩和を受けた円安進行、企業の収益改善期待、公的資金の株式市場への流入期待などが好材料となり、大幅に上昇しました。

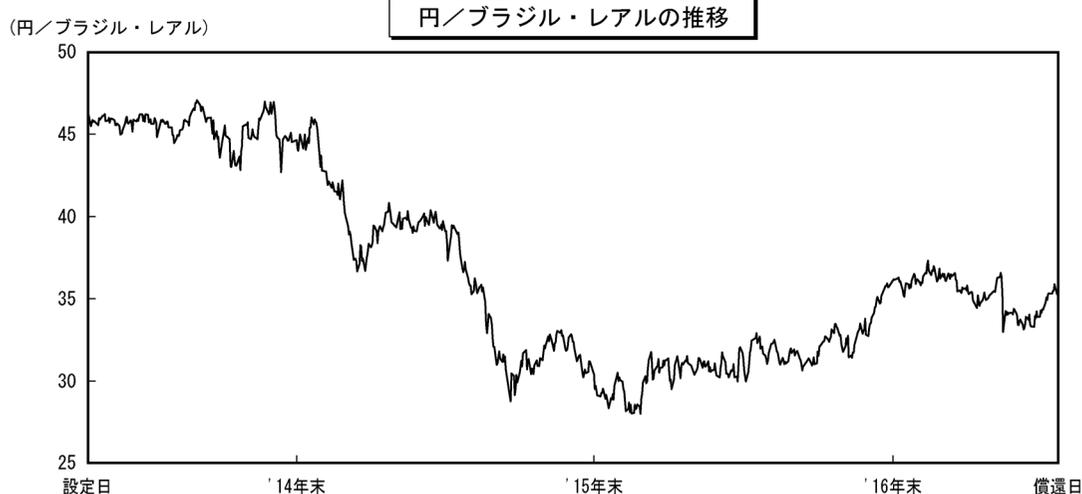
#### 第2期 (2015年7月28日～2016年7月25日)

日本株式市場は、中国の人民元切り下げに端を発した中国経済の減速懸念から下落して始まりました。その後は日銀やECB (欧州中央銀行) による追加金融緩和期待などから値を戻す局面もありましたが、原油安の進行や、FRB (米連邦準備制度理事会) による利上げによる世界経済への波及懸念、欧州の金融機関の信用問題などを背景に2月中旬にかけては再び調整局面となりました。その後も米国の利上げペースの減速観測による米国金利の先高感の低下や英国のEU (欧州連合) 離脱の決定を受けた投資家のリスク回避による円買いにより、円が主要通貨に対して上昇基調で推移する中、期末にかけて上値の重い展開が続きました。

**第3期**（2016年7月26日～2017年7月25日）

日本株式市場は、2016年11月の米国大統領選挙においてトランプ政権が誕生したことを端緒に経済政策への思惑から米国金利が急上昇する中、日米金利差を背景に円安米国ドル高が進行したことを受けて大幅に上昇しました。その後はトランプ政権の政策運営能力に対する懸念、中東や北朝鮮情勢の緊迫化などが株価の重石となりましたが、世界的に堅調な企業業績、内外金利差拡大による円安基調の継続などが下支えとなり、底堅く推移しました。

## 為替市場



### 第1期 (2014年4月25日～2015年7月27日)

ブラジル・レアル建てのブラジル割引国債は高い利回り水準により、堅調に推移しました。ブラジル・レアルに関しては、低調なブラジル経済、主要輸出品である商品価格の下落、ブラジル国債の格下げ懸念等を背景に円高ブラジル・レアル安が進行しました。

### 第2期 (2015年7月28日～2016年7月25日)

ブラジル・レアル建ての割引国債は高い利回り水準により、堅調に推移しました。ブラジル・レアルに関しては、大手格付機関からのブラジル国債の格下げ、軟調なブラジル経済、また政治的不安定さ等を背景に円高ブラジル・レアル安となりました。

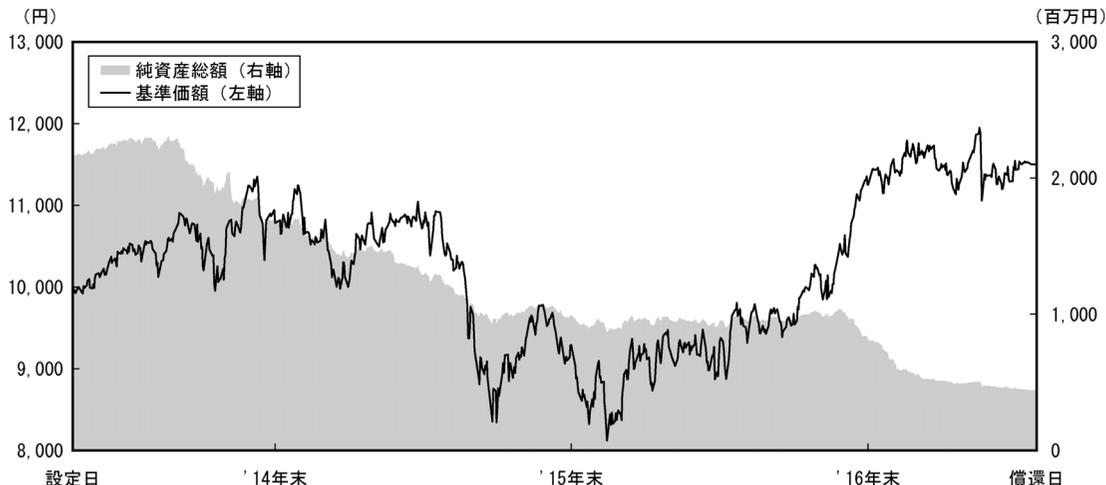
### 第3期 (2016年7月26日～2017年7月25日)

ブラジル・レアル建ての割引国債、ブラジル・レアルとも、期首から5月半ばまでは政権による改革期待や経済指標改善により上昇基調で推移しましたが、テメル氏の不祥事疑惑が高まった5月半ばに大きく下落しました。しかし、その後はいずれも期末にかけて持ち直しました。

## 設定以来の運用経過

(2014年4月25日～2017年7月25日)

### 基準価額等の推移



※当ファンドは期中には分配を行いませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。

### 基準価額の主な変動要因

#### 第1期 (2014年4月25日～2015年7月27日)

##### <主な上昇要因>

ブラジル・リアル建てのブラジル割引国債および日経平均株価（日経225）に連動する上場投資信託証券（ETF）に投資した結果、為替市場において、円高ブラジル・リアル安が進行したことがマイナス要因となりましたが、ブラジル割引国債の価格が上昇したことや日経225の上昇によりETFの価格が上昇したことがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

#### ●分配金の状況

運用による収益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

#### ●運用経過

期を通じてポートフォリオの基本特性を維持しました。期末時点のポートフォリオはブラジル・リアル建ての割引国債と日経225に連動するETFで構成されています。

## 第2期（2015年7月28日～2016年7月25日）

### <主な下落要因>

ブラジル・リアル建てのブラジル割引国債および日経225に連動するETFに投資した結果、高い利回り水準によりブラジル割引国債の現地通貨建ての価格が上昇したことがプラス要因となりましたが、円高ブラジル・リアル安が進行したことや日経225の下落によりETFの価格が下落したことがマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

### ●分配金の状況

運用による収益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

### ●運用経過

期を通じてポートフォリオの基本特性を維持しました。期末時点のポートフォリオはブラジル・リアル建ての割引国債と日経225に連動するETFで構成されています。

## 第3期（2016年7月26日～2017年7月25日）

ブラジル・リアル建てのブラジル割引国債および日経225に連動するETFに投資した結果、為替市場において、ブラジル割引国債の現地通貨建ての価格が上昇したこと、円安ブラジル・リアル高が進行したことにより、基準価額は上昇しました。

### ●運用経過

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。その後、2017年7月の償還に向けてポートフォリオの現金化を進めました。

受益者のみなさまには、長い間ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

## ◆1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

(2016年7月26日～2017年7月25日)

項目	第3期 (2016.7.26～2017.7.25)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	73円 (23) (47) (3)	0.680% (0.216) (0.432) (0.032)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,770円です。 委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料 (投資信託証券)	8 (8)	0.077 (0.077)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	15 (15)	0.141 (0.141)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
合計	96円	0.898%	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ◆売買および取引の状況

(2016年7月26日～2017年7月25日)

## 【公社債】

		買付額	売付額
外 国	ブラジル	千ブラジル・レアル —	千ブラジル・レアル 12,606 (9,600)

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

## 【投資信託証券】

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	日経225連動型上場投資信託／野村	口 —	千円 —	口 18,400	千円 364,130

(注) 金額の単位未満は切捨て。

## ◆主要な売買銘柄

(2016年7月26日～2017年7月25日)

### 【公社債】

買 付			売 付		
銘 柄	金 額		銘 柄	金 額	
—	千円	—	REPUBLIC OF BRAZIL 2017/07/01(ブラジル)	千円	450,042

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

(注3) 単位未满是切捨て。

### 【投資信託証券】

買 付			売 付		
銘 柄	口 数	金 額	銘 柄	口 数	金 額
—	口	千円	日経225連動型上場投資信託/野村	口	千円
	—	—		18,400	364,130

(注) 金額の単位未满是切捨て。

## ◆利害関係人との取引状況等

(2016年7月26日～2017年7月25日)

当期における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◆組入資産の明細

(2017年7月25日現在)

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。

## ◆投資信託財産の構成

(2017年7月25日現在)

項 目	当期末（償還時）	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	442,021	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	442,021	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ◆資産、負債、元本および償還価額の状況

(2017年7月25日現在)

項 目	当期末（償還時）
	円
(A) 資 産	442,021,038
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	442,021,038
(B) 負 債	1,490,175
未 払 信 託 報 酬	1,489,570
未 払 利 息	605
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	440,530,863
元 本	383,085,589
償 還 差 益 金	57,445,274
(D) 受 益 権 総 口 数	383,085,589口
1万口当たり償還価額(C/D)	11,499円54銭

&lt;注記事項&gt;

設定年月日

2014年4月25日

設定元本額

2,178,681,092円

第3期

期首元本額

1,011,671,381円

元本残存率

17.5%

1口当たり純資産額

1.149954円

## ◆損益の状況

(2016年7月26日～2017年7月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	2,056,940
受 取 配 当 金	1,630,200
そ の 他 収 益 金	440,257
支 払 利 息	△ 13,517
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	155,885,958
売 買 益	342,580,920
売 買 損	△ 186,694,962
(C) 信 託 報 酬 等	△ 6,003,956
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	151,938,942
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 27,358,967
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 67,134,701
償 還 差 益 金 (D + E + F)	57,445,274

(注1) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、収益の分配は行いません。

## ◆投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年4月25日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年7月25日		資産総額	442,021,038円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	1,490,175円
受益権口数	2,178,681,092口	383,085,589口	△1,795,595,503口	純資産総額	440,530,863円
				受益権口数	383,085,589口
元本額	2,178,681,092円	383,085,589円	△1,795,595,503円	1万口当たり償還金	11,499.54円

## ◆毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,173,087,903円	1,221,446,388円	10,412円	－円	－%
第2期	1,011,671,381	984,312,414	9,730	－	－
信託期間中1万口当たり総収益金及び年平均収益率				1,499.54円	4.6110%

## ◆償還金のお知らせ

<b>1万口当たり償還金（税込）</b>	<b>11,499円54銭</b>
----------------------	-------------------

◇償還金は償還日から起算して、5営業日までにお支払いを開始いたします。

◇償還金に対する税金は次のとおりです。

個人の受益者の場合は、償還時の差益については申告分離課税が適用され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率となります。

法人の受益者の場合は、償還時の元本超過額について15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の率による源泉徴収が行われます。

※税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になる場合があります。